



新学期

笑顔でスタート!



議 会 だより

く ね っ ぷ

No.217 3月定例会
2023年(令和5年)5月1日

発行: 訓子府町議会

【特集】議会活動をふりかえる

4年のあゆみ

6P | 一般質問
町政を問う

15P | 議員間討議
どんなまちにしたいか?

16P | 委員会報告
所管事務調査
活動レポート

議会ネット配信中
チャンネル登録
よろしくね!



年のあゆみ



報酬

にしたいか

議討問



- 新部会による紙面見直し
- 表紙・裏表紙カラー化
- 全国・全道コンクールで受賞

議会だより



- 議会アドバイザー研修
- 先進地視察
- 各種研修会参加

議員研修

コロナもあったけど
新しいことに挑戦した
4年間だったね。



議会活動 4

「議会基本条例」のもと議会活性化活動をしてきたこの4年。今期のあゆみを振り返り、町民の皆様にお知らせします。



- 各団体との意見交換会
- 議会報告会
- 議会モニターの委嘱



- 議員定数・
- 除雪問題
- どんなまち

町民と交流

議員

町民の皆さんに選ばれた10人は、4年間基本条例に沿った活動を行ってきました。

主に「町民との交流」「分かりやすい情報の開示」「議員同士の議論」「研修による学び」「IT化への挑戦」など、互いの違いを認め合いながら、議員の果たす役割を、模索してきました。

コロナ禍で歯がゆい思いもありましたが、くんねつぷらしさを持ち味として、次世代に繋いでいければと思います。

四年間を終えて

議会活性化特別委員会 委員長

西山 由美子



- インターネット録画配信
- QRコードによる情報発信
- タブレット端末導入検討

ICTの推進

3月
定例会

3月9~16日

町からの議案は、条例の制定や改正案など14件、令和5年度各会計予算案6件、令和4年度各会計補正予算6件ですべて原案どおり可決、承認しました。
その他議員提案の条例の制定1件、報告1件、意見書案1件は、すべて原案どおり可決、了承しました。

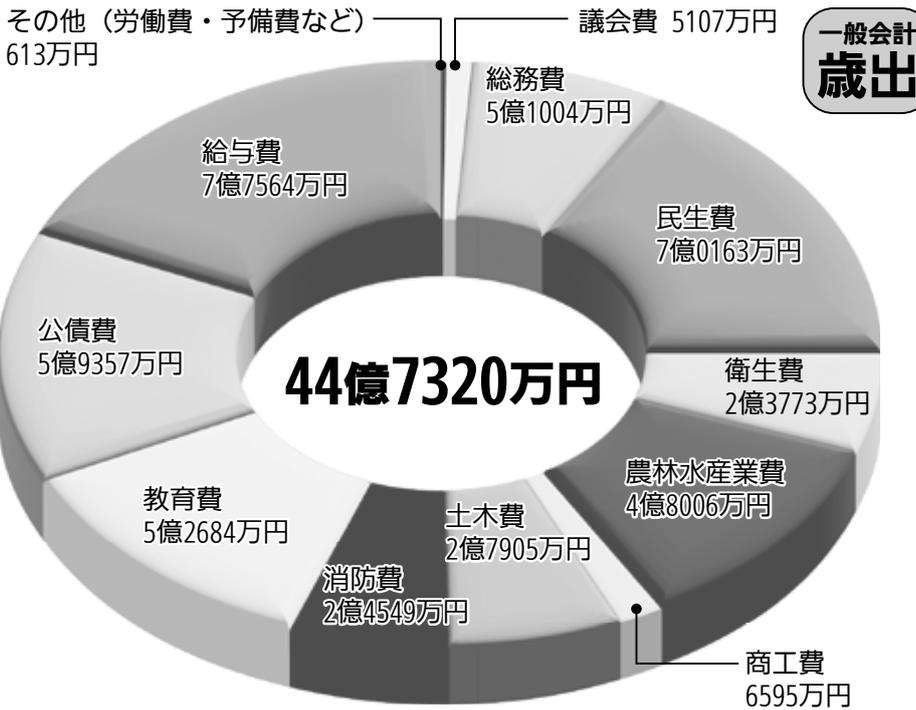
ツク 今年の予算(骨格)

スクールバス置き去り防止装置導入事業

スクールバス内の児童置き去り事故防止のため、車内に降車時の点検・確認装置を3台設置するよ



62万7千円



各会計予算

会計名		予算額
一般会計		44億7320万円
特別会計	国保会計	8億3770万円
	後期高齢者医療会計	1億0190万円
	介護保険会計	6億2760万円
	下水道会計	2億7530万円
合計		63億1570万円

水道事業会計予算

収益的収入及び支出	
収入	1億7689万円
支出	1億6455万円
資本的収入及び支出	
収入	1億7338万円
支出	2億0799万円



議案説明を視聴できます

わたしは こう判断



令和
5年度

議会がチエ

骨格予算とは町長が変わる年度の予算で新しい政策的な予算はほとんど入ってないよ



定
例
会

全員賛成により可決した議件名
令和4年度各会計補正予算 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 後期高齢者医療 <input type="checkbox"/> 介護保険 <input type="checkbox"/> 下水道事業 <input type="checkbox"/> 水道事業
令和5年度各会計予算 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 国民健康保険 <input type="checkbox"/> 後期高齢者医療 <input type="checkbox"/> 介護保険 <input type="checkbox"/> 下水道事業 <input type="checkbox"/> 水道事業
条例の制定 <input type="checkbox"/> 訓子府町議会の個人情報の保護に関する条例 <input type="checkbox"/> 訓子府町個人情報の保護に関する法律施行条例 <input type="checkbox"/> 訓子府町情報公開・個人情報保護審査会条例 <input type="checkbox"/> 訓子府町情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例
条例の一部改正 <input type="checkbox"/> 訓子府町議会議員及び訓子府町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 <input type="checkbox"/> 訓子府町情報公開条例 <input type="checkbox"/> 第1種会計年度任用職員の給与に関する条例及び第2種会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例 <input type="checkbox"/> 職員の給料に関する条例 <input type="checkbox"/> 国民健康保険条例
財産の処分 <input type="checkbox"/> 町有林生産素材販売
人事案件 <input type="checkbox"/> オホーツク公平委員会委員の選任
専決処分の承認 <input type="checkbox"/> 一般会計補正予算（第13号～第14号）
報告 <input type="checkbox"/> 定期監査結果報告 <input type="checkbox"/> 出納検査結果報告 <input type="checkbox"/> 所管事務調査結果報告
その他 <input type="checkbox"/> 町道路線の廃止 <input type="checkbox"/> 町道路線の認定
意見書 <input type="checkbox"/> 食料安全保障の強化及び食料・農業・農村政策の確立と酪農・畜産経営の安定を求める要望意見書

高齢者ハイヤーサービス事業



1153万8千円

※3月定例会では賛否が分かれた議件はありませんでした
 ※議長の代行をした西山副議長は採決に加わりません



ひらばやし のりこ
 平林 規子さん
 (若葉町)

◇議会に望むことは？
 5月から、半数の議員が変わるが、勉強して町のために活動してほしいです。

◇傍聴の感想は？
 しばらくぶりに傍聴に行きましたが、思っていたより多くの人が来ていました。

◇傍聴のきっかけは？
 支持している議員の最後の質問だったので聴きに行きました。

インタビュー

※3月定例会は29人の傍聴がありました。



質疑・採択を視聴できます

7人の議員が質問

- ◇工藤 弘喜 議員……………P 7
 - ・「訓子府中小企業・小規模企業振興条例」
「訓子府町まちづくり町民参加条例」と今後
に向けた課題について
- ◇谷口 武彦 議員……………P 8
 - ・住宅政策推進事業について
 - ・商工業振興策について
 - ・少子化対策について
- ◇泉 愉美 議員……………P 9
 - ・人口減少問題への対策について
- ◇河端 芳恵 議員……………P10
 - ・消防サイレン吹鳴と消防体制は
 - ・地域おこし協力隊の今後の考えは
- ◇西森 信夫 議員……………P11
 - ・今後の行政見直しは
- ◇余湖 龍三 議員……………P12
 - ・コロナ禍の終息を迎えての会食を伴う会合の
今後の取り扱いについて
 - ・消防署救急車業務の出動体制の改善について
- ◇山田日出夫 議員……………P13
 - ・新町政への引き継ぎについて

一般質問は1人最長60分と定めています。

町政を問う



一般質問は議員が、町の行財政全般にわたり
事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、
疑問点をただすものです。

一
般
質
問



一般質問の記事は、各議員が音声データを基にして書き上げたものを掲載しています。

問

今後の課題解決に向けた考え方は

町長

町民のまちづくりへの参加を推進

二つの条例に

共通する理念は

【問】これまでの4期16年を振り返り「訓子府町中小企業・小規模企業振興条例」と「訓子府町まちづくり町民参加条例」に関わり今後の課題について伺いたい。

二つの条例には共通する理念が示されていると思うが町長の見解は。

【町長】「中小企業・小規模企業振興条例」は中小企業・小規模企業の振興に関する施策などの推進と持続的発展並びに地域経済の活性化と町民生活の向上を目的に。「まちづくり参加条例」では人口減少、少子高齢化、町民ニーズの多様化など町を取り巻く環境が大きく変化している状況においてさまざまな地域

課題に対応していくため、これまで以上に町民のまちづくり参加を推進し、町民主体のまちづくりの実現を目的に制定した。この条例の共通の理念は地方自治の本旨の一つである住民自治である。

条例を生かす上での難しさや課題は

【問】条例を生かす上での難しさや課題はなかつたのか。あるとするならその要因は何か。

【町長】平成12年に施行された地方分権一括法により地方分権改革がはじまったが、これまで地方自治を取り巻く歴史的経過が影響し、訓子府町に限らず住民自

治の原理が職員や住民に浸透するまで時間を要することが現状の課題である。戦後、憲法で地方自治が保証されたが、実際には地方公営団体が国との関係で自立性が発揮できない状況が続き、広く住民自治の意識の浸透に影響を与えていたことが要因だと思う。

今後取り組むべき

課題は

【問】本町において今後取り組まなければならない課題は。

【町長】「人口減少」「地域経済の活性化」「脱炭素社会に向けての取り組み」「災害対策」など身近な課題からグローバルな課題まで多岐にわたる課題が山積している。

事業実施で

何を重視してきたか

【問】地方自治そのものや事業の実施において何を重視してきたのか。

【町長】就任以来厳しい情勢であつても町民福祉の向上、生活や暮らしの課題について町民の声を積極的に町政に反

映することに心がけてきた。各事業の実施においても可能な限り町民の声に耳を傾け必要な施策の具体化に努めてきた。町民ニーズの多様化、社会環境の大きな変化からも多様な視点が必要であり町民のまちづくりへの参加推進が求められている。



くどう ひろき 議員
工藤 弘喜

すべての町民にやさしい町を願っています



脱炭素社会に向けた本町の貴重な森林資源



工藤議員の一般質問を視聴できます



たにぐち たけひこ 議員
谷口 武彦

新年度
新たな気持ちで
気を引き締めます！

問 不良空き住宅所有者への今後の支援は

町長 国だけでなく町独自の政策が必要

空き家住宅実態調査

問 空き家住宅実態調査を行ったが、結果は。

町長 空き家などをデータベース化するために調査を行ったが、空き家と思われる建物は140件存在していた。

問 結果をどのように生かしていくのか。

町長 所有者にアンケート調査を行い70件から回答があったなかでは約7割が高齢者、約半数が町外居住者、多くの方が空き家の改修や解体に掛かる費用の支出が困難であり、実態調査で得られた情報で状況把握や所有者が適正に管理し、将来に向

けて不良空き家を増やさないように検討していく。

不良空き住宅の解体

問 不良空き住宅等除去補助金が始まったが、活用はあったのか。

町長 空き家所有者から3件の申し込みがあり、2件を対象とし補助金交付決定をしたが、所有者が解体業者に見積りしたところ、費用を工面できないことから2件とも断念した。

10Xモ

**不良空き住宅等
除去補助金**

不良空き住宅の解体に要する費用を建物の不良度判定を行い、認められた住宅には50万円を上限に1/2補助する制度。

問 課題は多いとは思いますが今後の考えは。

町長 今回は、国の補助内で行ったが、今後国を超える政策を町で覚悟ができるのか、検討しなければならぬ。

空き家バンク制度

問 空き家バンク制度の令和4年度の活用は。

町長 3件の申請があり、1町内在住者で中学校以下の子どもの同居家族がいる者に該当し、それぞれ200万円の補助金を交付した。

問 制度の課題は。

町長 新しい住宅は飛びつくが、昭和56年以前の耐震制度での住宅対応が課題である。



町民に好評な
空き家バンク制度と
住環境リフォーム促進事業

問

元気なまちづくり推進室
設置の検証は

地域経済の活性化に
大きく寄与を

町長

訓子府町を元気に

問 16年間でさまざまな

商工業振興策を行ったが、訓子府町の元気につながった事業は。

町長 「住環境リフォーム促進事業」は、町内業者の受注機会の増加と商品券による町内消費の拡大につながった。

「店舗出店等支援事業」は、不足業種の解消や町外から移住者の出店もあり、元気につながっていると考える。

問 実現半ばの事業は。

町長 「ドラッグストア」のニーズが多く、生活の利便性向上のためにも検討が必要と考える。

問 元気なまちづくり推進室を設置したが、効果検証は。

町長 商工業・商店街の振興は、私の4期目の最重要課題と位置付け、商工業振興対策を地方創生の視点に立って経済的かつ一本的に取り組み、地域経済の活性化に大きく寄与していると考えている。

このほかに「少子化対策について」の質問をしました。



👉 谷口議員の一般質問を視聴できます

問

人口減少に立ち向かう町の対策は

町長

住み続けられる町づくりに徹する

人口減少の現状

問 多くの町民の心配事である人口減少問題だが、近年の人口減少の推移は。

町長 令和2年が79人、令和3年が71人の減少で、令和4年は出生と死亡の差による自然減が64人、転出と転入の差による社会減が39人の合計103人の減少となった。

これまでの成果

問 人口減少に関わるさまざまな事業に取り組んできたが、成果を上げた事業は。

町長 空き家活用定住対策補助金や店舗出店等支援事業補助金は移住に繋がり成果を上げた。また、こども園や医療費無償化などの子育て支援も喜ばれている。

結婚を望む方の希望

問 結婚することも人口問題のポイントとなるが、婚活支援の考えは。

町長 独身の農業後継者が多いのが事実である。若者からは、クリスマス時期のイベント開催やキャンプ開催の要望などがある。若者自身に計画の主体となってもらい、関係機関と協力しながら進めたい。

町の魅力発信

問 町内外への訓子府の魅力発信はどのように行ってきたか。

町長 首都圏での移住フェアに参加し、10数件の相談を受けた。対外的なPRが弱いので、ホームページやSNSを活用していきたいと考えている。

交流人口・関係人口

問 定住人口とは別の交流人口や関係人口を増やす取り組みの現状と今後の方針は。

町長 町外からも多くの人が訪れるふるさとまつりやさむさむまつりの開催、武蔵野美術大学との連携、返礼品で特産物のPRもできるふるさと納税、姉妹町津野町との交流事業などさまざまな取り組みを実施している。

持続可能なまちであるために

問 人口減少によって予想される町の財政面の影響は。

町長 一般的には、生産人口が減少し経済的に縮小することにより、住民税などが減収になる。また、人口を算出基礎とする普通交付税が減少する見込みである。

町民の心配は、生活にどのような影響があるのかということだ。

問 人口減少に立ち向かう町の決意を伺う。

町長 人口が千人になっても町は生きていける。町民自身が町は滅びないという確信を持ってほしい。行政は安心して住み続けられる町づくりに徹するべきだと考えている。

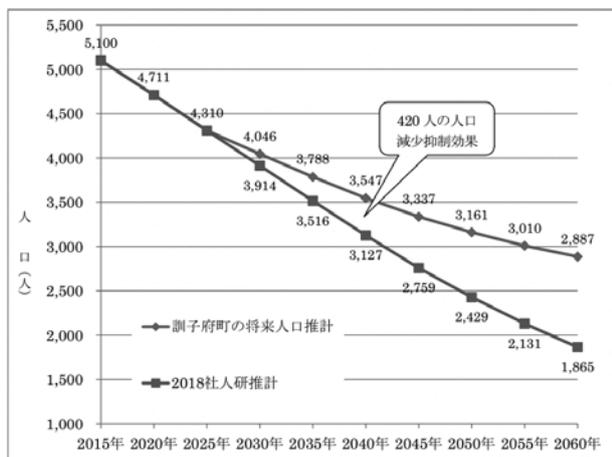


いづみ ゆみ 泉 愉美 議員

今年の夏こそ運動する！

町長 商工業の後継者や新規雇用に助成をしている。

町長 町外からも多くの人が訪れるふるさとまつりやさむさむまつりの開催、武蔵野美術大学との連携、返礼品で特産物のPRもできるふるさと納税、姉妹町津野町との交流事業などさまざまな取り組みを実施している。



本町の将来人口推計





かわばた よしえ 議員
河端 芳恵

サイレンが鳴るような災害が起きないで!!

問 サイレン吹鳴と消防体制に問題は

町長 空白地帯はないと認識

サイレン聞こえない 空白地帯は

問 消防庁舎が移転したが、サイレンが小さくて聞こえないという声があちこちで出ている。サイレンの空白地帯はないか。

町長 胆振東部地震のブラックアウトでモーターサイレンが使用できなくなった反省から新消防庁舎には電子サイレンを採用した。

末広町、若富町、穂波にある既存の子局モーターサイレンと新消防庁舎の電子サイレンで市街地全域をカバーしているのほぼ空白地帯はないと認識。

非常時の団員招集は

問 非常時の団員招集はメールで行っているようだがそれで十分か。

町長 平成20年の通信指令体制の一元化により、消防団員の招集はサイレンからメールに変わった。メールは、いつでも、どこでも受信できるので不便はないと聞いている。

問 昨年12月緑丘での火災時、消防自動車はサイレンが鳴ってすぐ出動したが、2台目は団員の集まりが遅くて出動に時間がかかっていた。これは団員がメールの着信に気付かなかったからでは。

町長 出動には支障がな

かったと聞いている。

問 昨年10月総合防災訓練が東町、元町、旭町の住民を対象に行われ、サイレンを合図に避難することになっていたが、サイレンが聞こえなかったとの声もあつたが対策は。

町長 サイレンの音が小さいとの声は届いているが、特に不備があつたとの報告は受けていない。

問 大火、洪水などの避難時にはサイレンを吹鳴するとあるが、今のサイレンで対応できるのか。

町長 避難指示が発令された場合は、サイレン吹鳴、広報車、災害メール、SNS、テレビなどあらゆる手段を同時に実施するので、現体制で対応できると考えている。



消防庁舎のサイレン

問

地域おこし協力隊
今後の考えは

町長

新たな執行体制で
検討される

問 今年度、待望の地域おこし協力隊が着任したが、残念ながら年度途中で退任された。

協力隊導入にあたり

役場内での合意認識の醸成はできていたか。

町長 募集にあたり、各課に協力隊の役割などを説明し協力隊の導入について聞き取りをした。

活動の幅を広げるため他課の事業にも参加させるなどして合意認識の醸成はできていた。

問 他町では複数の隊員を雇用している町も多いようだが、1人はハイドルが高く厳しかったのでは。

町長 本町では初の試みであり、まずは外からの視点を生かせる移住



訓子府の良さを再発見



河端議員の一般質問を視聴できます

問 今後の行政見通しは

町長 多岐にわたる課題が山積

本町の行政課題は

問 今後における、現町長から見た本町の行政課題は。

町長 課題として、人口減少と少子高齢化、町内会・実践会などの地域活動の担い手不足、地域経済の活性化、脱炭素社会に向けての取り組み、地域公共交通の維持、高齢者の足の確保、老朽化した公共施設や道路、橋などの

維持更新、災害対策、

国が推進するデジタル

技術を活用した社会の

変革の対応や高齢者を

はじめとする除雪対策

など、ほかにも多岐に

わたる課題が山積して

いると思う。

本町の資源活用は

問 何も無い町訓子府と言われるほど観光資源も、ほかにめばしい資源もない中、本町での資源活用は何か。

町長 本町は農業基盤整備事業での圃場整備の結果、オホーツク管内で戸当たり経営規模が最小でありながら高い生産性を誇る農業が大きな地域の資源と考えている。

さらに試験研究機関も充実していて、北見農業試験場は農業試験研究課題の委託や農業後継者への講座開講など地域と密着した基礎研究施設となっている。ホクレン訓子府実証

農場では、酪農と畑作の技術実証が行われている。高速通信技術を活用した牛の健康管理や個体識別を目的とした研究実証を取り組むほか、トラクターの自動操舵や可変施肥、ド

ローンの活用などスマート農業の実証を行う研修施設ともなっており、町外から多くの視察者も訪れ農業分野は充実しているといえる。

企業においても、味の素食品や訓子府石灰工業、特産品として、うどん、みそ、はちみつ、しそジュース、たれかつ井などもある。公共施設では、温泉

保養センター、スポーツセンター、温水プール、パークゴルフ場、レクリエーション公園など多彩な魅力ある資源が存在する。

本町の「地の利」は

問 訓子府の「地の利」は何か伺いたい。

町長 人口11万人を超える北見市に隣接しており、高校、大学、専門学校などの教育機関への通学や通勤のほか、買い物や各種レジャー

施設の利用、多くの医療機関への通院など都市機能が利用できる距離に位置し日常生活上の利便性が高いことだと思う。

町長 本町の地の利を生かし、もっている潜在的な力をもっと顕在化させながらこの町を発展していただければいいと思う。終えるにあたり町民の皆さんに感謝し上げる。

問 今後の見通し、次期町長につないでいただきたい所信を伺いたい。



課題山積 魅力あるまちづくりを



にしもり のぶ お 議員
西森 信夫

雪が解け黒い土が見え出した
春が来た またがんばろう





余湖 龍二 議員

コロナが
落ち着きました
今後は活発な活動を

問 飲食を伴う会合の解禁の考えは

町長 懇談会・懇親会の開催は言及しない

飲食業の現状

についての把握は

問 コロナ禍の確認から3年間が過ぎ、政府もマスクの着用を個人の判断に任せるなどコロナ対策を抜本的に転換した。

この3年間は飲食業にとって苦境の3年間であった。

飲食業の現状についてどのように把握しているか。

町長 コロナウイルス感染症は猛威を振るいまたたく間に感染が広がったが現在は全国的に感染者数が減り、本町においてもかなり少なくなっている。

この3年間は全ての町民が非常に厳しい生活を強いられ、飲食業にとっても自制や時短営業の要請、感染症対策の徹底など厳しい経営状態だった。

多人数での会食はまだ少ないようだが、徐々に少人数での会食などは増え飲食店の客足がもどってきていると感じている。

ただ、もう一つの問題として物価高騰により飲食業にとっては依然として厳しい経営状況が続いているとも感じている。

今後の飲食を伴う会合解禁の考えは

問 政府のコロナ対策の抜本的な転換を機に我が町でも会食会合の取り扱いについて見直す時ではないか。

町長 今後の飲食を伴う会合の解禁の考えは、3町長 国や北海道では3

月13日からマスクの着用を個人の判断にまかせることとし、徐々にではあるがコロナ禍前の日常を取りもどす方向に向かっている。

町の行動指針においても3月13日からは町が主催する懇談会・懇親会などの開催の判断については言及しないことで、現在改定作業を進めている。



問

今後の出動体制改善の考えは

職員定数が15名から17名へ増員

町長

問 生命財産を守る消防業務の中で消火活動と並んで重要な救急救命のための救急車の出動は年々回数が増加し続けています。

現在令和5年4月付で救急救命士資格取得見込み者1名の採用が内定されている。体制を充実させ全身的な隔日勤務体制を図っていく。

今後の出動体制の改善の考えは。

町長 消防職員の勤務や出動体制の決定については北見地区消防組合の権限であり法令上町は体制改善の権限は有してないが、令和5年の北見地区消防議会で訓子府支署の職員定数が15名から17名に増やされた。



余湖議員の一般質問を視聴できます

問

お年寄り見守り支援の認識と引継ぎは

町長

ステップアップ、新町長に求める

問高齢化の進行で認知症や介護への身近な対策と体制整備が必要ではないか。

町長 域のつながりや活動の場を創り支援体制の強化に努める。

問認知症など支援を必要とする高齢者の増加は避けられない。

町長 地域のお年寄りを見守り支援する町ぐるみの運動が必要。町、町内会・実践会、ボランティアが連携し、地域に多少の濃淡が出てもいいから、行政が呼びかけを始めないか。新町政に必要性を積極的に引継ぎしてほしい。

包括支援センターを中心に在宅介護や施設介護、訪問介護、配食や訪問などの各種サービスの支援充実に取り組んでいる。

今後とも予防活動と地

町長 お年寄りが安心の町づくりは私も望むところだ。見守り支援はステップアップが必要。新町長に拡充を求める。

問災害を防ぎ生産基盤

支える農地排水溝の維持管理では事業や機械力が不十分ではないか。

町長 小河川や排水溝の土砂上げは保全会事業と直営とで実施する。今後は昭和50年代に整備した側溝などの修繕箇所が増加し、予算増額も検討したい。

今後、全ての公共施設の個別施設計画を作成し公表する。

問畑周辺の排水溝が土砂堆積で流れにくい現場が山積している。

春到来
町づくりも
新しい芽吹きを期待

やまだひでお
山田日出夫 議員

これらがまた災害を招くので保全会や直営の予算を増やし、機械力不足にも取り組むべきではないか。

町長 町の直営事業としての対応が足りないという指摘かと思う。土木直営の予算もあり保全会との連携を図る。機械力は不足ぎみで、国・道との連携などを続けたい。

問大型施設の維持管理やコスト、利用推計の心配にどう応えるか。

町長 大型施設建設では、施設利用や管理経費などの情報提供をしてきた。今後、全ての公共施設の個別施設計画を作成し公表する。

問広聴活動の種類はあるが、町民意見を直接聞き、反映したものは少ないのでは。

町長 就任以来、夜間町

長室、車座トークなどを実施、私ほど町民の声を聞く町長はいない。

高齢者ハイヤー利用、保育料減額など施策に反映したのもも多い。

問人口減少が続く町の活気が失われる中で移住定住で画期的な効果が期待できる新施策になぜ消極なのか。

町長 直接、間接的に移住定住に結びついた事業もある。空き家活用定住補助金、移住相談窓口開設、新規就業支援、店舗出店支援事業などのほか、子育て環境の充実が移住につながった事例がある。第6次町総合計画でも重点的に移住定住に取り組んでいきたい。



思いやりあふれるまちづくりを



訓子府高校生も傍聴での感想が立派でしっかり考えていて自分が恥ずかしいなと感じました。

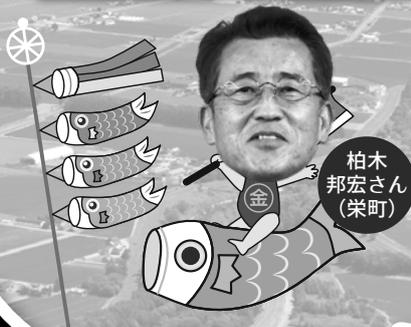
特別版きかせてみんなの声では各団体との意見交換会、小規模のグループの意見を興味深く読ませていただきました。

「時世時節」初めて読みました。これからの時代、人手不足になっていくし、助け合いの心は本当に大事になっていくと思いました。

コロナ禍で「なにもかも」価格が上昇していますね。農家や酪農家そして各企業が現在の一番の悩みどころだと思います。経営圧迫状態を少しでも和らげることができればいいと思います。一方で、各々の対応には限界があると思います。

議会用語は、わかりにくい「専門用語」が丁寧にわかりやすく明記されていたので良かったです。勉強になります。

商品券の配布等していただき大変ありがたく思っていますが、今後も物価上昇の傾向が続く見込みがあるので「中長期的ビジョン」に基づいた、支援の検討をお願いしたいですね。そのためには、国・道・町が今以上に連携をとりコロナ離農や倒産を少しでも減らす「予防」が必要かと思います。



柏木 邦宏さん (栄町)



上原 寛隆さん (駒里)

議会モニターひろば

議会モニターからの意見をご紹介します。(要旨)

- ◇議会だより(2月1日発行216号)
- ◇議会ホームページ
- ◇議会インターネット配信について

若年層の議会傍聴と考察は彼らにも、町にもとても良い機会、活動であると思っています。ぜひこれからも続けていただきたいと願っています。

読者モニターと町議との意見交換という非常に貴重な時間を頂けたことに感謝いたします。これからもよろしく願いたします。

議会のホームページは訓子府町のホームページの中にあると聞いたので探せました。

表紙には「二十歳の式典」、内容には「議会の傍聴、訓高生の声」が掲載されていたことについて、訓子府町で育つ若者たち、生活している若者たちの様子が議会だよりの中で伺えるというのは、大変良いことだと感じました。

表紙の写真がとても良かった。

高校の生徒や校長先生の写真入りでの“声”はたくさん意見が書かれていることも良かった。

きかせてみんなの声の特別版は、団体の声を聞くことと活動があることを知ってもらうこととしてもとても良いページだったと思う。



川戸 洋子さん (清住)



奥村 昇一さん (穂波)

島貫 昌代さん (日出)

やはり表紙がカラーだと見やすいです。以前のモノクロとは雲泥の差を感じます。

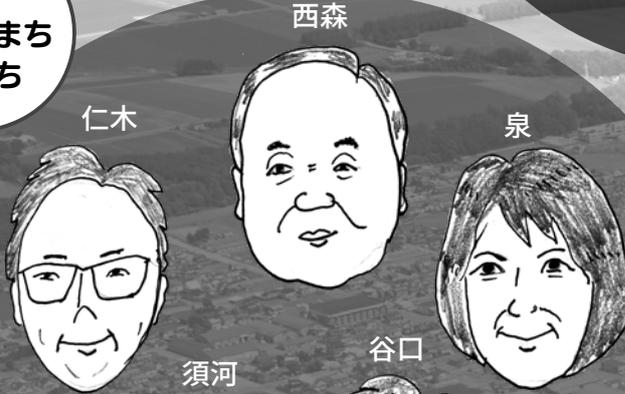
インターネット配信は、ホームページで気になる議員さんを見ました。

くんねっぷを どんなまちにしたいか？

町民の方から「議員として、くんねっぷをどんなまちにしたいの？」と問われました。これをテーマに議員間討議を行うことになり、2グループに分かれて、5回会議を開きました。その中から主なものを報告します。

- ・図書館整備の構想
- ・レク公園のPR
- ・町営牧場のPR活用

- ・ハード面は完了
- ・安心して住みたいまち
- ・バランスのよいまち



- ・ソフト面で町民の声を聴く
- ・人口対策
- ・新しい産業

- ・高齢者の足の確保
- ・道の駅、キャンプ場の検討
- ・移住定住

- ・観光
- ・既存資源
- ・特産品の開発
- ・町のPR方法

- ・町民の声を吸い上げる仕組みづくり
- ・住宅施策

- ・議会だよりに町民の声を掲載する
- ・対面式の意見交換会

- ・広報紙に町民の声を折り込む
- ・地域での見守り

- ・自治会での見守り作業の必要性から、町を挙げての仕組みづくり



- ・北見市のベッドタウン化の検討
- ・町の政策のPR

画：西山由美子

動しポート

所管事務調査は、常任委員会が、その担当部門に関する町の事務について調べることだよ。書類を見て町の担当者に説明を求めたり、現場に行って確認したりするよ。



産業建設 常任委員会



町民の生活を支える「大谷水源地」

訓子府のおいしい水はここからもきているよ



◇上水道事業の運営については、安全で安定した水道水の供給に万全を期すとともに、今後とも水

◇町有林の維持管理については、森林の持つ水源かん養機能を重視し、町の財産としてその価値を高めるため、森林整備などに関わる財源確保を引

資源の有効活用のためにも漏水箇所の早期把握に努め、有収率の向上を図ることを求めます。
さらに、老朽管の更新計画については、水道ビジョンを基に財源確保や財政状況を見据え、計画的な推進を求めます。



さらなる周知に期待する「置き雪除雪事業」



適正に管理されている「町有林」

◇置き雪除雪事業については、周知方法と今後の事業展開を期待します。

引き続き国に対し求めるとともに、関係機関と連携を図り、適切な管理に努めることを望みます。引き続きドローン等の最新技術の活用も視野に入れていただきたい。
また、森林認証の活用・PRなどにより、木材産業活性化の推進を図ることを求めます。



所管事務調査結果報告をご覧になりたい方はこちら

所管事務調査活

総務文教 常任委員会



子どもたちの放課後を見守る「ゆめゆめ館」

◇児童センターについては、子育て・教育面などにおいて大きな効果が認められ、今後とも利用者の声を生かし、安全に配慮した運営を望みます。



子育ての不安を相談できる「子育て支援センター」

◇子育て支援センターについては、子育て世代の相談の場、交流・情報交換の場としての効果が認められ、利用者に寄り添った活動を望みます。

◇歴史館の運営については、入館者の拡大を図るために、親しみやすい施設名称・PR手段・展示方法の工夫など、積極的な取り組みを求めます。



昭和のくらしがよみがえる「歴史館」

◇文化・芸術振興事業（アート・タウン・プロジェクト事業）については、町民の参加も含めた今後の事業展開について検討を求めます。また、作品への道順案内の設置を望みます。

◇GIGAスクールについては、事業効果が十分に発揮されるよう、教職員の研修を引き続き実施し、健康に十分配慮しながら、児童生徒への教育効果の向上に努めることを望みます。



ICTを利用した教育が進む「GIGAスクール」

歴史館に行ってみてね！
意外におもしろいよ



先進地に学ぶ

議会基本条例に基づき議員研修を行いました。

東川町議会 谷口 武彦

1月23日
10名参加



家具デザインアーカイブス



せんとびゅあ内 本の森

三つの道がない町上川郡東川町。国道、鉄道、そして水道がない。東川町には3年前から行政視察を計画していました。コロナ禍のため度重なる延期が続きました。やっと視察に行きました。

地域おこし協力隊事業では、59人がさまざまな分野で活動しており、どのような町にしたいか横でのつながりで共有しており、さらには移住定住などにも生かされていきました。また、町独自のユニークな政策も数多く行なわれており、公立の日本語学校や町民が気軽に集える図書館、平屋建てのオープン教室、廊下が270mの小学校、写真文化首都「写真の町」としての取り組みなどこれからのまちづくりが大変勉強になり、生かしていければと思っています。

鷹栖町議会 山田日出夫

1月24日
10名参加



インパクト抜群の議会のチラシ



鷹栖町議会の皆さんと

鷹栖町に議員研修でお邪魔しました。まず、議会だよりは割付の余裕があり、濃いグレイインクを使った紙面は重くなく読みやすく作っていました。議会予告の手法は電車で吊り広告そっくりの紙面のため、刺激的でインパクト抜群ですが、目立つこと重視の手法は賛否両論もあると思います。

議会傍聴ガイドブックを用意し気軽な傍聴を呼びかける姿勢は大賛成で勉強になりました。わが議会だよりは国・道の受賞をしましたが、一層の前進を目指します。地域おこし協力隊事業の研修では、目的を絞った募集から町民交流、起業・定住まで一貫した思想とプランが必要なることを学びました。

2月16日

町村議会広報クリニック

仁木 義人



講師から実践的なアドバイスを受ける

東京都の全国町村議員会館にて開催された「町村議会広報クリニック」に参加しました。

この研修会は、魅力ある議会広報紙の作り方のほか、各町村で発行している議会広報紙を実際に持ち寄り、講師より直接アドバイスを受ける形の研修会でした。

本町の議会だよりは「画像やイラストを多く使い、文字数も多くなく読みやすい。ギカイくんのコメントが効いている」など良い点がある一方、「表紙の画像がまとまっていない。読者である町民の声をもっと載せる」など、具体的に実践的なアドバイスを受けた。

今回の研修で学んだことを生かし、もっと身近で読んで頂ける議会だよりを目指していきたいと思えます。

議員の公務の出欠状況

議会基本条例に基づき公表します。

令和5年2月1日～令和5年4月30日

月日	会議名	余湖	西森	山田	仁木	西山	泉	谷口	工藤	河端	須河
2月14日	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15～17日	町村議会広報クリニック（東京都）	△	△	△	○	△	△	△	△	△	△
17日	全員協議会	○	○	○	出	○	○	○	○	○	○
20日	議会運営委員会	△	○	△	△	○	○	△	○	△	△
	オホーツク町村議会議長会総会（遠軽町）	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△
21日	産業建設常任委員会	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○
22日	総務文教常任委員会	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△
3月 1日	議会広報特別委員会（サポート部会）	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△
9日	第1回定例会（～16日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（意見書協議）	△	○	△	△	○	○	△	○	△	△
10日	産業建設常任委員会（意見書協議）	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○
16日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会運営委員会（総括）	△	○	△	△	○	○	△	○	△	△
27日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会（サポート部会）	△	△	△	○	○	○	○	△	△	△
4月11日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報特別委員会（サポート部会）	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△
14日	議会広報特別委員会（サポート部会）	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△

○：出席、欠席理由（出：出張）

なお、出席を求められないものは斜線表示としています。また、須河議員は、2月14日に議員辞職しています。

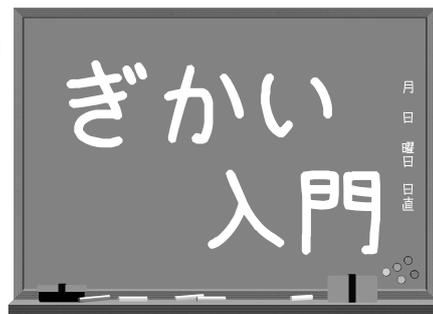
定例会レビュー

3月定例会を振り返る

議会運営委員会では、定例会終了後にその運営を振り返り、よりよい議会運営をめざしています。一部をご紹介します。

- ◇議長を欠いての開催ではあったが、支障なく運営され、上手くまとまった。
- ◇説明員の対応は、予算審議を含め、問題はない。
- ◇次年度も町長が継続するのであれば、より深い質疑ができたと思われるが、今回は、勇退することから、難しい状況にあったと思う。

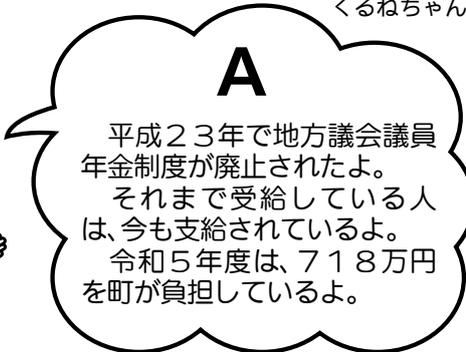
質問も
募集しています



議会のことを
もっと知りたい



たれカツ乙女
くるねちゃん



ギカイくん

主なうごき

2月	4月
4日 津野町交換留学生歓迎セレモニー (正副議長)	4日 こども園入園式 (副議長・総文委員長)
5日 さむさむまつり開・閉会式 (議長)	6日～ 新入学期交通安全街頭指導 (全議員)
7日 津野町交換留学生歓迎離町式 (正副議長)	14日 訓子府小学校入学式 (総文委員長)
15日 いだあきら後援会事務所開き (副議長)	6日 居武士小学校入学式 (副議長)
17日 自衛隊家族会訓子府地区総会 (副議長)	訓子府中学校入学式 (副議長・総文委員長)
18日 武部新衆議院議員国政報告会 (副議長)	14日 訓子府町産業観光振興協議会定期総会 (副議長・産建委員長)
20日 すかわ徹後援会事務所開き (副議長)	27日 新生紀森林組合通常総会 (副議長)
24日 第24回老連ハッピーボウリング大会 (副議長)	
28日 こども園お楽しみ会【2歳児】 (副議長)	
3月	
3日 自由民主党訓子府支部・高橋文明 訓子府後援会合同事務所開き (副議長)	
こども園お楽しみ会【1歳児】 (副議長)	
7日 こども園お楽しみ会【0歳児】 (副議長)	
15日 訓子府中学校卒業証書授与式 (副議長・総文委員長)	
20日 訓子府小学校卒業証書授与式 (副議長・総文委員長)	
23日 こども園卒園式 (副議長・総文委員長)	
24日 居武士小学校卒業式 (副議長・総文委員長)	
第46回老連芸能発表会 (副議長)	
29日 令和4年度第1回訓子府町有林野経営審議会 (副議長・産建委員長)	



ここから
見れるよ



議会基本条例

～議会運営委員会で評価

議会運営委員会では、令和2年度新たに「議会基本条例評価基準」を定め、これに基づいて同条例の目的が達成されているか、実施計画が適正に実行されたかなどの検討および評価を行いました。主なものを公表します。

【評価欄】：「◎」は概ね達成、「○」は達成したが改善の余地あり

「△」達成していない、「×」は未着手

〔評価実施日：12月21日〕

条文	議会基本条例（目標）	実績	評価
第5条	町民参画及び町民との連携 ・議会活動に関する情報公開の徹底と町民に対する説明責任を十分に果たす。	【意見交換会】 ・8/26産建議員としゃべり隊6名 ⇒9/1実施後協議 ⇒9/15全議員へ報告 ・11/9総文議員と居小後援会5名 ⇒11/18全議員へ報告 ・11/17産建議員とつながるマルシェ実行委員会3名 ⇒11/18全議員へ報告 【議会報告会】 ・7/21、7/23「議会だより見直し」「ネット配信開始」を報告後、グループ討議⇒議員間討議へ 【会議の公開】 ・すべて公開 <反省事項等> ・議会報告会の開催方法を検討する必要がある。 ・政策提案までは、至らなかったことから、次年度は、政策提案につなげていく必要がある。	○
第6条	議会広報の充実 ・町政に係る論点・争点の情報を町民に周知する。 ・情報通信技術の発展を踏まえ多くの町民が行政に関心を持つように議会広報活動に努める。	【議会だより】 ・今年度から表紙、裏表紙のカラー化を実施。「議会だよりサポート部会」を設置し、見直し活動 【ネット中継】 ・ネット中継を継続。 【ホームページ】 ・情報の早期掲載を図る。	◎
第12条	自由討議による合意形成 ・議員相互間の自由討議を中心に運営する。 ・議案等の審議に際しては、議員相互間の自由討議により議論を尽くし合意形成に努め、町民への説明責任を果たす。	【自由討議】 ・各種意見書についての課題、問題点などについて各委員会で討議した。 <反省事項等> ・議員相互間の自由討議による合意形成は、難しいと考える。なお、かなり高い目標であり、理想的な条項であると思っている。	△
第14条	議会モニターの設置 ・町民から広く意見を聴取し円滑かつ民主的な議会運営等を推進するため、議会モニター制度を設ける。	【モニターとの意見交換会】 ・12/20全議員と議会モニター4名 <反省事項等> ・議会モニター制度は、議会改革の象徴であると思っており、制度を通して、議会活動への関心をもってもらうことを考える必要がある。 ・議会モニターは、5名では少ないと感じており10名程度に増員し、広く意見を聞くことが必要と考える。また、年齢層と男女比率も含め、増員を検討する必要がある。	○



きかせて!

訓子府小学校6年生の皆さんに聞きました



そうま りお
相馬 里音さん

- ①ふるさとまつりや、さむさむまつりなどいろいろなイベントがあるところ
- ②修学旅行
- ③薬剤師



さかもと れんせい
坂本 蓮星さん

- ①優しい人がいて、メロンをくれるところ
- ②修学旅行でみんななど買い物をするところ
- ③自動車整備士

みんなの



ひろべ
広部 いぶきさん

- ①おいしいごはん屋さんがあるところ
- ②バレーボール少年団が楽しい
- ③お母さんみたいな人になりたい



しもじ きょうしろう
下地 響志郎さん

- ①自然がいっぱいあるところ
- ②最学年になること
- ③動物園の飼育員

- ①訓子府の好きなところは?
- ②楽しみにしていることは?
- ③大人になったらなりたいものは?

3年におよぶコロナ禍も、この春に規制緩和がなされ、通常の生活がもどろうとしています。町議会も多く、制約のもと、研修会・視察・報告会などの勉強の機会に影響ができました。5月から新メンバーの議会、制約をうけた3年を取り

あ
と
が
き



返し、更に上乗せできる活動の必要を感じます。「町民の声を聞き、町政に声を」は議員の使命です。
余湖 龍三

元気いっぱい!
楽しい休み時間!!



訓子府小学校の子どもたち

2023年(令和5年)5月1日発行
くねっつぷ議会だより 第217号

発行 北海道訓子府町議会 ■編集 訓子府町議会広報特別委員会
〒009-1498 北海道常呂郡訓子府町東町3008 TEL0157-47-2184 FAX0157-47-2600
ホームページ <https://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/gikai/> メールアドレス gikai@town.kunneppu.hokkaido.jp



👉 訓子府町議会ホームページ